



わかしよう

〔学校教育目標〕

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

全校で大縄を行いました

縦割り班で大縄跳びを行いました。2学期は縦割り班ごとに連続跳びに挑戦します。全校で市民グラウンドに移動し、3色に分かれてさあ練習です。高学年生を中心に、みんなで声を掛け合い楽しく跳ぶことができるようになりました。少しの練習時間でしたが、低学年の友達も連続跳びができるようになった班も見られました。今後何回か練習し、12月には大縄大会を実施する予定です。



1年生ゴミ拾い

昨年度、若草小クリーン隊のお話をしました。5年生が4年生の時に始めた活動です。今でも子供たちが時々ごみを拾ってきます。先日は1年生が中休みにブランコをしている際、多くのごみを見つけました。休み時間が終わるとそのごみを拾ってきてくれました。

代表委員会が開かれました。

児童会の行事を行うにあたり、代表委員会が開かれます。児童会本部からの提案を受けて、各クラスで話し合い、代表委員会で決定します。自治的な活動を学ぶ大切な場所です。9・10月はあいさつ運動を行うことが決定しました。「20人にあいさつとありますが、先生方も入りませんか？」など多くの質問や意見が出されました。毎朝たくさんの子供たちの気持ちの良いあいさつが聞こえてきます。



代表委員会

あいさつ運動



コロナ禍で実施できなかった活動の一つに若草地区小中合唱交流会があります。今年は9月に計画していましたが、若中のコロナ感染により中止になりました。3学期に行う6年生の中学校説明会の折に交流することで、再度計画しています。

9月28日(木)教育講演会 多くの保護者の参加をお願いします

28日は5校時(1:50~2:35)道徳の授業参観を行います。今回の授業参観は、制限を設けずに実施します。多くの保護者が来校し、混雑も予想されます。通路等も狭く危険も予想されますので、お互いに気を配り合いながらの参観をお願いいたします。

そのあと、体育館にて「**子どもの心を育てるコミュニケーション**」と題して、山梨大学の栗田真司先生よりお話を聞きます。多感な児童期の心を育てる上での悩みや不安は、きっと保護者の方もお持ちではないでしょうか。栗田先生は県内でも多くの学校で講演しており、「お話を聞いてよかった。」と高い評価を得ています。ぜひ多くの保護者の方に聞いていただきたいと思います。お忙しい中ではありますが、ともに学び合いたいと思います。



9月26日 工事の様子

登校中に子供たちと触れ合っているとたくさんの「きょうだい愛」に出会います。少し涙ぐんでいる弟に寄り添いながら手を引くお兄ちゃん。お姉ちゃんに怒られながらも一生懸命後ろをついていく妹。先日は、学校を目前にしていたお姉ちゃんが、弟を見失ってしまいました。学校まではもうすぐですが、急に心配になり、周りをきょうきょう見渡していました。少し後ろに高学年のお兄ちゃんといることが分かりました。学校まではもうすぐなので、周りのみんなも「大丈夫だよ。」と声をかけていました。それでも不安そうな顔をしていると、それを見て友達が一言。「それが家族なんだよね。」と。登校中の会話の中で、小学生の深い言葉に感心しました。

廊下ですれ違った2年生の男の子が、「宿題で校長先生が出たよ。」と教えてくれました。「どういうこと？」と聞くと、なにやら漢字プリントの中に出てきたとのこと。さらに「みんな校長先生はカメラマンだ。と言ってたよ。」んーっ、いったいどういうことなのか？子供の声にさらに混乱。なかなか内容を理解できず2年生の宿題プリントを拝借。「なるほどこのことか」、確かにカメラを持ち歩き写真を撮る自分に納得。

子供たちが少しでも宿題に向かおうという気持ちになれば、こんなにうれしいことはありません。きっと「時」という字は印象に残る漢字になったことでしょう。先生のちょっとしたアイデアに感謝です。

